

■ ジャパングートダービー (JpnI) アラカルト (過去全 18 回の分析)

※記録は平成 29 年 6 月 28 日時点

■ 単勝 1 番人気馬はまずまず堅実

単勝 1 番人気馬は 8 勝、2 着 3 回、3 着 2 回で、3 着内率は 72.2%となっている。なお、単勝 2 番人気馬は 4 勝、2 着 3 回、3 着 1 回で、3 着内率が 44.4%。単勝 3 番人気馬は 2 勝、2 着 6 回、3 着 3 回で、3 着内率が 61.1%だった。

■ 8 割弱の回で単勝 3 番人気以内の馬が優勝

過去 18 回のうち 14 回は、単勝 3 番人気以内の馬が勝利を収めた。また、単勝 3 番人気以内の馬によるワンツーフィニッシュ決着は 8 回ある。なお、単勝 3 番人気以内の馬が 1 頭も 3 着以内とならなかった回はまだない。

■ 牝馬は優勝例なし、外国産馬は 2 勝

過去 18 回の優勝馬 18 頭はいずれも牡馬だった。牝馬は第 6 回でアクイレジアが 2 着となったものの、まだ優勝例がない。なお、外国産馬は第 6 回のカフェオリンポス、第 11 回のテストマッタと、これまでに 2 頭が優勝を果たしている。

■ 3 着内馬の 3 分の 1 強は地方所属馬

地方所属馬は 4 勝、2 着 6 回、3 着 10 回、JRA 所属馬は 14 勝、2 着 12 回、3 着 8 回となっている。過去 18 回の 3 着内馬 54 頭に対する割合で示すと、地方所属馬は約 37%、JRA 所属馬は約 63%だ。

■無敗での制覇はトーシンプリザードのみ

過去 18 回の優勝馬 18 頭中、出走時点で無敗だったのは第 3 回のトーシンプリザード（出走時点で 7 戦 7 勝）だけである。なお、ダートのレースに限ると出走時点で無敗だった馬は、前出のトーシンプリザード（ダートのレースに限っても出走時点で 7 戦 7 勝）に加え、第 4 回のゴールドアリュール（ダートのレースに限ると出走時点で 2 戦 2 勝）、第 7 回のカネヒキリ（同 4 戦 4 勝）、第 10 回のサクセスブロッケン（同 4 戦 4 勝）、第 11 回のテストアマッタ（同 2 戦 2 勝）、第 14 回のハタノヴァンクール（同 4 戦 4 勝）と、計 6 頭いる。

■騎手別の歴代最多勝記録は「3」

騎手別の勝利数を見ると、3 勝の武豊騎手が単独トップ。内田博幸騎手、戸崎圭太騎手、横山典弘騎手が 2 勝で続いている。

■調教師別の歴代最多勝記録は「2」

調教師別の勝利数を見ると、2 勝の川島正行調教師、角居勝彦調教師がトップタイである。

■馬番 15～16 番は優勝なし、16 番は連対例もなし

枠番別勝利数を見ると、6 勝の 6 枠が単独トップ。7 枠が 4 勝で続いている。なお、昨年の第 18 回で 5 枠のキョウエイギアが優勝を果たしたことにより、優勝例のない枠番は 1 枠のみとなった。また、馬番別勝利数を見ると、4 勝の 11 番が単独トップ。3 番、7 番、9 番、10 番が 2 勝で続いている。ちなみに、優勝例のない馬番は 1 番、2 番、13 番、15 番、16 番だ。

<伊吹雅也>